

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和3年8月31日

会議の名称	政策推進会議
開催日時	令和3年8月11日（水） 10時00分～10時50分
開催場所	第3庁舎 4階 庁議室
出席者職氏名	〔担当部課〕 八木市政情報課長、田中市政情報課主査 〔政策推進会議メンバー〕 尾崎総合行政部長、川幡総務部長、松永市長公室長、榎本人事課長、近藤財政課長、外立秘書政策課長 <p style="text-align: right;">（計 8人）</p>
欠席者職氏名	<p style="text-align: right;">（計 0人）</p>
説明員職氏名	八木市政情報課長、田中市政情報課主査 <p style="text-align: right;">（計 2人）</p>
議 題	志木市ICT戦略ビジョンの策定について
結 果	案のとおり庁議に付議することとなった。
事務局職員職氏名	松田秘書政策課副課長、本間秘書政策課主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

外立秘書政策課長が開会を告げる。

2 審議事項（政策推進会議メンバーはメンバーと表記する。）

<志木市ICT戦略ビジョンの策定について>

八木市政情報課長より、志木市ICT戦略ビジョン（案）について概要を説明した後、審議を行った。

○ 概要説明

<志木市ICT戦略ビジョン（案）について>

全国的に、2040年頃にかけて人口減少が問題化しており、行政運営についても、労働人口の減少に伴う職員の減少が懸念されている。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新しい生活様式が求められている中、窓口に行かなくていい行政サービスの仕組みづくりを実現する必要がある。

これらのことを踏まえると、Society 5.0の実現と自治体デジタルトランスフォーメーションを推進することにより行政事務の効率化と行政サービスの向上を図るとともに、行政サービスのレベルを維持するためAIなど新たなICT技術を活用した行政運営についても検討していく必要がある。

ICT戦略ビジョンにおいては、次の5つの基本方針を基に、志木市のICT化を戦略的に進めることを目標にしている。

- ① スマート自治体を目指し、ICT技術で行政サービスの利便性を向上
- ② 自治体DXを実現するため、ICT技術で行政事務を効率化
- ③ オープンデータの充実と利活用
- ④ ICT人材の育成
- ⑤ 情報セキュリティの強化とセキュリティインシデントに対応するCSIRTの明確化

○ 質疑

メンバー：計画には、年度ごとの取組等について記述がない。年度ごとの取組の決定や、進捗管理はどのように行うのか。

担当部課：この計画については、志木市将来ビジョン（第五次総合振興計画）をはじめとした志木市の各種計画をICT及びデータ利活用の観点から下支えするものであると考えており、具体的な取組、進捗管理については、新行政改革プランをはじめとした各計画にあわせて行うことを考えている。

○結論

案のとおり庁議に付議することとなった。

3 閉会

外立秘書政策課長が閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。